

プリテスト並びに平成 26 年度及び令和元年度世論調査の各結果について¹

令和 6 年 9 月

	平成 26 年度 世論調査	令和元年度 世論調査	プリテスト
問 1 ² . あなたは、今までに、裁判所を見学したり、裁判を傍聴（ぼうちょう）したりしたことがありますか。（○は 1 つ）	(N=1,826) ³	(N=1,572)	(N=170)
1. ある ⁴	13.4%	11.9%	24 人 14.1%
2. ない	86.6%	88.1%	145 人 85.3%
無回答 ⁵			1 人 0.6%
問 2. 死刑制度に関して、次のような意見がありますが、あなたは、どちらの意見に賛成ですか。（○は 1 つ）	(N=1,826)	(N=1,572)	(N=170)
1. 死刑は廃止すべきである	9.7%	9.0%	29 人 17.1%
2. 死刑もやむを得ない	80.3%	80.8%	140 人 82.4%
わからない・一概に言えない	9.9%	10.2%	
無回答			1 人 0.6%

¹ 原資料は、「基本的法制度に関する世論調査」の「調査票」（平成 26 年度の世論調査）、「基本的法制度に関する世論調査」の「調査票」（令和元年度の世論調査）及び「基本的法制度に関する世論調査」の単純集計結果表（プリテスト）である。

² 平成 26 年度及び令和元年度の世論調査においては、調査対象者に対し口頭で示されている。

³ 「N」は有効回収数を表している。

⁴ 各回答のうち、冒頭に「1」「2」等を付したものが、平成 26 年度及び令和元年度の世論調査並びにプリテストにおいて、回答選択肢として示されたものである。なお、平成 26 年度及び令和元年度の世論調査においては、問 1 及び問 3 の回答選択肢については、調査対象者に対し口頭で示されており、その他の質問の回答選択肢については、調査対象者に対し回答票（回答選択肢が列挙されている票である。各回答選択肢の冒頭には、「1」「2」ではなく「(ア)」「(イ)」等の記号が付してある。）を呈示して示された。

⁵ 冒頭に「1」「2」等を付していない回答は、いずれの世論調査及びプリテストにおいても、回答選択肢として示されていない。平成 26 年度及び令和元年度の世論調査は個別面接聴取法により実施しており、「無回答」はない（以降の間について同じ）。

	平成 26 年度 世論調査	令和元年度 世論調査	プリテスト
問 2 で「1. 死刑は廃止すべきである」と答えた方への質問	(N=178)	(N=142)	(N=29)
問 3. 「死刑は廃止すべきである」という意見に賛成の理由はどのようなことですか。次の中から、あなたの考えに近いものを選んでください。(○はいくつでも)			
1. 人を殺すことは刑罰であっても人道に反し、野蛮である	31.5%	31.7%	7 人 24.1%
2. 国家であっても人を殺すことは許されない	38.8%	31.0%	14 人 48.3%
3. 裁判に誤りがあったとき、死刑にしてしまうと取り返しがつかない	46.6%	50.7%	18 人 62.1%
4. 凶悪な犯罪を犯した者でも、更生の可能性がある	28.7%	28.2%	6 人 20.7%
5. 死刑を廃止しても、そのために凶悪な犯罪が増加するとは思わない	29.2%	32.4%	9 人 31.0%
6. 生かしておいて罪の償いをさせた方がよい	41.6%	42.3%	17 人 58.6%
7. その他	2.8%	2.1%	5 人 17.2%
わからない	2.2%	2.1%	
無回答			- -
問 2 で「1. 死刑は廃止すべきである」と答えた方への質問	(N=178)	(N=142)	(N=29)
問 4. 死刑を廃止する場合には、すぐに全面的に廃止するのがよいと思いますか、それともだんだんに死刑を減らして行って、いずれ全面的に廃止する方がよいと思いますか。(○は 1 つ)			
1. すぐに、全面的に廃止する	43.3%	36.6%	14 人 48.3%
2. だんだん死刑を減らしていき、いずれ全面的に廃止する	54.5%	57.0%	15 人 51.7%
わからない	2.2%	6.3%	
無回答			- -

	平成 26 年度 世論調査	令和元年度 世論調査	プリテスト
問 2 で「2. 死刑もやむを得ない」と答えた方 への質問	(N=1,467)	(N=1,270)	(N=140)
問 5. 「死刑もやむを得ない」という意見に賛 成の理由はどのようなことですか。次の 中から、あなたの考えに近いものを選ん でください。(○はいくつでも)			
1. 凶悪な犯罪は命をもって償うべきだ	52.9%	53.6%	75 人 53.6%
2. 死刑を廃止すれば、被害を受けた人や その家族の気持ちがおさまらない	53.4%	56.6%	77 人 55.0%
3. 死刑を廃止すれば、凶悪な犯罪が増え る	47.2%	46.3%	62 人 44.3%
4. 凶悪な犯罪を犯す人は生かしておく と、また同じような犯罪を犯す危険が ある	47.4%	47.4%	77 人 55.0%
5. その他	2.0%	1.6%	7 人 5.0%
わからない	0.3%	2.5%	
無回答			1 人 0.7%
問 2 で「2. 死刑もやむを得ない」と答えた方 への質問	(N=1,467)	(N=1,270)	(N=140)
問 6. 将来も死刑を廃止しない方がよいと思 いますか、それとも、状況が変われば、将 来的には、死刑を廃止してもよいと思 いますか。(○は 1 つ)			
1. 将来も死刑を廃止しない	57.5%	54.4%	85 人 60.7%
2. 状況が変われば、将来的には、死刑を 廃止してもよい	40.5%	39.9%	54 人 38.6%
わからない	2.0%	5.7%	
無回答			1 人 0.7%

	平成 26 年度 世論調査	令和元年度 世論調査	プリテスト
ここからは全員の方がお答えください 問 7. 死刑がなくなった場合、凶悪な犯罪が増えるという意見と増えないという意見がありますが、あなたはどのようにお考えになりますか。(○は 1 つ)	(N=1,826)	(N=1,572)	(N=170)
1. 増える	57.7%	58.3%	102 人 60.0%
2. 増えない	14.3%	13.7%	63 人 37.1%
わからない・一概には言えない	28.0%	27.9%	
無回答			5 人 2.9%
ここからは全員の方が【説明】を読んでから下の問 8 をお答えください 【説明】 ⁶ 現在、死刑の次に重い刑は、一生刑務所に入らなければならない「無期懲役」ですが、仮釈放される場合があります。これに対して、仮釈放されない場合がない、いわゆる「終身刑」は、現在の日本にはありません。			
問 8. もし、仮釈放のない「終身刑」が新たに導入されるならば、死刑を廃止する方がよいと思いますか、それとも、終身刑が導入されても、死刑を廃止しない方がよいと思いますか。(○は 1 つ)	(N=1,826)	(N=1,572)	(N=170)
1. 死刑を廃止する方がよい	37.7%	35.1%	63 人 37.1%
2. 死刑を廃止しない方がよい	51.5%	52.0%	107 人 62.9%
わからない・一概には言えない	10.8%	12.8%	
無回答			- -

⁶ 平成 26 年度及び令和元年度の世論調査においては、【資料 1】と題された書面（【説明】と同内容のもの）が調査対象者に呈示して示された。